派遣

に還元」

流プ
経験
もち

で人造石油をはじめエネルギー問題に関心を持っていることから、「急速な経済成長の陰でエネルギーや環境問題を抱える中国がどのような教育活動を行っているかを見たい」と話す。

訪問団は11月1日まで滞在し、2日に帰国予定。期間中、北京や済南、上海などで教育関係者の座談会、現地や外国語学校の訪問、地元教育委員会との交流などを予定している。大井さんは「派遣が決まりありがたいと感じた。中国でもたくさん学び、しっかり帰国後に還元したい」と気を引き締めている。

【丸岡宣久】

中友好
年交流
と教育
企画。
会の招
40人の
会の関

一小で
当して
ら授業
る自律
取り組
もICT
国都市
たい」
一方

車いす1台を寄贈

三洋電機洋友会北海道地区　リングプル集め協力

【滝川】三洋電機を退職した有志の団体「三洋電機洋友会北海道地区」（清水香会長）が17日、滝川市扇町地区コミュニティセンター運営委員会に車いす1台を寄贈した。2017年、19年、22年に続く寄贈で4台目となった。

洋友会は全国組織で、健康に楽しく余生を過ごす活動とあわせ、社会貢献活動としてリングプルやアルミ缶を集めて道内各地へ車いすを寄贈している。市内でも扇町地区の住民を中心にリングプルなどを集め、道地区の活動に協力している。

扇町地区コミュニティセンターで開かれた贈呈式では、清水会長が同運営委員会会計の川村洋さんへ車いすを寄贈。川村さんは清水会長へ感謝状を贈呈した。

清水会長は「道地区では13年から寄贈を始めて、今回で38台目の車いすとなります。引き続きプルタブ、アルミ缶集めに協力お願いします」と述べた。

寄贈された車いすは、栄町のまちづくりセンターみんくるで活用するという。

学んだこと発揮し戦力になって

A・L・Pで内定式

【滝川】コンピューターソフトウェアの開発やゴルフ場の経営総合管理システムなどを手がける「A・L・P（エー・エル・ピー）」（本社・滝川、笹見史恵代表）は18日、2025年度の内定式を同社で開いた。

式では、笹見代表が来春卒業予定の五十嵐美優さん（砂川高）、木村葵くん（滝川西）、加藤侑太さん（北海道

保存会メンバー　蒸気機

【滝川】勇壮な姿を見せていた滝川市文化公園で保管されているSL（蒸気機関車）の冬支度が20日に行われた。今年もSLの保管・整備を手がけている滝川SL保存会のメンバーが保護シートをかける作業を実施した＝写真＝。

文化公園のSLは「デゴイチ」の愛称で親しまれる「D51 297」で1966年に製造された。主に赤平市や芦別市、上砂川町などを走り、石炭を運

住

品は、滝川市美術自然史館の企画展示室に飾り、発表会では40組が26日午後1時から同館ロビーで行う。

また体験コーナーも用意しており、26日と27日各午前11時から生け花体験（無料、先着15人）、27日午前11時から呈茶（無料、数量

市教育
開く市
り文化

▽滝川市美術自然史館　滝川書道連盟、全日本写真連盟滝川支部、北海道写真協会滝川支部、滝川美術刀剣会、公募作品（葉月会、小筆同好会、奥家書道教室、個人）

▽市民交流プラザ　滝川文学懇話会短歌部門、滝川俳句会、華道原流札幌支部滝川支所、池坊光明流清美会滝川支部、池坊清月派空知支部、滝川映画サークル、おやこ劇場、アートステージ空知、滝川幼稚園、滝川白樺幼稚園

◇芸能部門（出演順）　滝川市三曲会ひさの会、藤間流真佐喜会、

オ、桜雲流、カラオケ和楽会、生田流正派邦楽会山口社中、吟剣詩舞和翔流、滝川市民合唱団、桜雲流、滝川歌謡愛好会、戸山流居合道北海連盟、滝川相撲甚句会、滝川市婦人会音楽部、柴田三味線教室、長谷川社中、滝川歌謡クラブ、東流寿々